

2022年度 オホーツク地区サッカー協会 マッチウェルフェアオフィサー認定研修会

開催要項

- 1 主旨 サッカーの活動の場面における差別や暴力・暴言の根絶を目的としたマッチウェルフェアオフィサーを養成する
- 2 名称 2022年度 オホーツク地区サッカー協会 マッチウェルフェアオフィサー認定研修会
- 3 主催 公益財団法人 北海道サッカー協会 オホーツク地区サッカー協会
- 4 主管 オホーツク地区サッカー協会 4種委員会
- 5 期日 2022年7月17日(日)
- 6 会場 北見市民会館
〒090-0817 北海道北見市常盤町2丁目1-10



- 7 受講資格 1) 受講年度の4月1日において満20歳以上であること
2) マッチウェルフェアオフィサーとしてサッカーの活動の場面における差別や暴力・暴言の根絶に取り組む意思のある者

- 8 定員 最大40名
- 9 講師 公益財団法人日本サッカー協会 ウェルフェアオフィサージェネラル 國田英一郎 (オホーツク地区サッカー協会副会長)

- 10 日程
- ・ 18:30~18:45 受付
 - ・ 18:45~20:15 講義・ディスカッション(90分程度の予定)
 - ・ 20:25頃 終了予定

- 11 受講料 1,000円(受講料、登録料、消費税含む)


- 12 受講申込 申し込み締切日 2022年7月13日(水)17:00

- 13 登録料 受講料に含まれます(継続登録料は発生しません)

登録期間は最長で5年後の年度末(2027年3月末)とします(期間中に講習会を受講することで登録期間の延長ができます)

* 北海道サッカー協会での登録期間の変更が決定した場合にはそれに従っていただきます

- 14 申込先 1) 下記Google formもしくは別紙申込書を電子メールにて送付して申し込んでください。
2) 下記へ受講料を振り込んでください。2022年7月13日(水)まで

オホーツク地区サッカー協会 國田英一郎 宛		[振込先] 銀行名: ゆうちょ銀行 九九八店 口座番号: 普通 0269895 口座名: オホーツク地区サッカー協会
[Google form] ※右のQRコードか下のURLから https://forms.gle/MDxUE8c1at6Akd1c7		
[申込専用メールアドレス] okfa23+mwo@gmail.com		

- 15 その他 1) 受講者はオホーツク在住及び道東ブロック4種委員会の方を優先します。次に道東ブロック→他ブロックとし受講可能な人数の範囲内で受講いただけます(先着順)。
2) 本講習会の受講及び講習会終了後に指導者登録をする際に、個人情報に関する同意をすることが条件となります。
3) 新型コロナウイルス感染症対策として、以下の対応をとるものとする。
ア) 本事業にあたっては、2021年3月15日(公財)北海道サッカー協会発「新型コロナウイルス感染症ガイドライン」を遵守し、参加選手、関係者はチェックリストによる確認を行うとともに、チェックシートを感染症対策担当者に提出する・参加者は2週間前から体温を必ず記入すること。
<https://www.hfa-dream.or.jp/news/news/20200707-05/>
イ) 関係者の健康状況の報告義務について
事業参加者ではない同チーム所属のプレーヤーで練習等行動を共にしたプレーヤーや関係者が、事業開始前7日以内に1発熱等の健康異常がおきた場合、2PCR検査や抗原検査で陽性と判定された場合、3PCR検査の判定を待っている場合、4濃厚接触者と判定された場合は、その事実を感染対策担当者にご報告いただくこととし、主催者、もしくは主管地区協会は、その状況に応じて当該参加者の事業参加の可否を検討いたします。
ウ) 会場に感染対策担当を設置する。感染対策担当者はオホーツク地区4種委員長が務め、会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。

感染対策担当者

横井 和美

090-3117-7596

2022年度 オホーツク地区サッカー協会

マッチウエルフェアオフィサー認定研修会参加申し込み

2022年7月17日(日)開催

フリガナ		
氏名		
生年月日	年 月 日生 (歳)	
住所	〒	
連絡先	(携帯又は自宅TELのうち連絡のつく方)	
Eメールアドレス	※携帯を除く	
指導チーム	種 (チーム名 :)	
ブロック	(札幌 ・ 道央 ・ 道南 ・ 道北 ・ 道東 ・ 所属なし)	
指導者登録番号	C	()級コーチ・キッズリーダー・資格無
その他の方	()級審判員 ・ チーム指導者 ・ 保護者 ・ その他()	
	()地区サッカー協会役員	
備考		

留意事項

1) 選択肢のある項目は、該当以外の文字を削除してください。

健康チェックシート

本健康チェックシートは、主催者が開催する下記大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、主催者は厳正なる管理のもとに保管し、チーム関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

注) 入場や参加を断るためのチェックではありませんので正しく記入してください。

①大会・トレセン・研修会等 名称	2022年度 オホーツク地区サッカー協会 マッチウェルフェアオフィサー認定研修会
------------------	--

<基本情報>

②チーム名		③感染対策担当者名 連絡先	記入不要
④フリガナ		⑥チーム代表者名 連絡先	記入不要
⑤氏名		⑦生年月日	西暦 年 月 日
⑧本人連絡先		⑨本人以外の緊急連絡先(続柄)	()
⑩	私は受講者です		

<研修会当日までの体温>

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
7/3(日)	℃	7/7(木)	℃	7/11(月)	℃	7/15(金)	℃	3日目 7/19(火)	℃
7/4(月)	℃	7/8(金)	℃	7/12(火)	℃	7/16(土)	℃	7/20(水)	℃
7/5(火)	℃	7/9(土)	℃	7/13(水)	℃	当日 7/17(日)	℃	7/21(木)	℃
7/6(水)	℃	7/10(日)	℃	7/14(木)	℃	2日目 7/18(月)	℃	7/22(金)	℃

<研修会前2週間における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
⑪ 平熱を超える発熱がない	
⑫ 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪症状がない	
⑬ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がない	
⑭ 臭覚や味覚の異常がない	
⑮ 体が重く感じる、疲れやすい等がない	
⑯ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑰ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑱ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない	
⑲ その他、気になること(以下に自由記述)	

シーン	項目	チェック欄	備考
1 事前検討事項	(1) 日程を短縮して開催することができないか。		
	(2) 人数を縮小しての開催、分散開催ができないか。		
	(3) オンラインでの研修（講義等）ができないか。		
	(4) 宿泊を伴わないカリキュラムやスケジュールを考えられないか。体力的に無理のない日程を考えられないか。		
2 事前確認事項 (参加者・スタッフ)	(1) 主管FAは感染対策担当者を決める。 主管FAの感染対策担当者は参加者・スタッフに以下の事項を事前に伝達する。 (1) 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる □ 体調が良くない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合） □ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる (2) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 (2) 当日参加する参加者・スタッフ全員がマスクを着用する (3) 健康チェックシートに記入し提出してもらう (4) 講習・研修会に参加する上で主管FAが示す注意事項を遵守してもらう		
	(3) 参加者・スタッフにそれぞれの地域の自治体から会場となる地域への移動制限が解除されており、会場への移動が問題なく行えることを確認する。		
	(4) 参加する全ての参加者・スタッフが「新しい生活様式」に従って日々の感染症対策、健康管理を行っていることを確認する。		
	(5) 参加する全ての参加者・スタッフの中に濃厚接触者として2週間の健康状態観察中の人がないことを確認する。		
	(6) 参加者・スタッフの保護者ならびに関係者全員が講習・研修会開催を了解しており、会場、日程、カリキュラム内容を理解していることを確認する。		
	主管FAの感染対策担当者は、事前に下記事項を会場（グラウンド）の管理者等に確認する。 (1) 会場（グラウンド）が感染対策を十分に行っているか否か。 (2) 他団体がいつまで同会場を使用するか。直前に使用する場合、当該団体の感染防止対策が適切になされているか否か。		
	(8) 講習・研修会運営に関わる全員が感染対策を認知し、運営準備段階からマスクの着用、手洗いの散行を行う。		
	(9) 前日及び当日に体調の悪い人は講習せず申し出て会場にこない、足を運ばないルールを講習・研修会関係者間で事前に徹底する。		
	(10) 講習・研修会に関わる全ての人（FA、ボランティア、会場、その他関係者）に健康チェックシートを提出してもらい健康状態チェックを行う。		
	(11) 健康状態チェックで体調が悪い人がいた場合は、参加させない。		
	3 施設対応	グラウンド	
(1) 会場（グラウンド）入口に消毒液を設置する。			
(2) 会場（グラウンド）のロッカールームが狭い、換気机にいい構造の場合、別の部屋を準備するか屋外（グラウンド脇など）にテントの仮設ロッカーを設置する。			
(3) ベンチの間隔を空けて座れるよう、テント等で追加ベンチを設置する。（暑熱対策から屋根付きベンチとする）			
(4) 可能な限り、更衣室、ベンチ、控室、トイレ等の消毒を行う。			
(5) トイレの個室に「流す時は蓋を閉める」表示、洗面所に「手洗いは30秒以上」の掲示を行う。			
(6) 備品の共有はできるだけ避ける（ピブス等）			
(7) 飲料は必ず各自で専用のボトル等を用意する。クーラーボックスなどで共有しない。			
(8) トブ掛けを使用しない。			
研修室			
(1) 会場（研修室）入口に消毒液を設置する。			
(2) 座席の間隔を広げる。			
(3) 演壇と参加者の座席の間隔を広げる			
(4) 集合・解散の挨拶時に握手やハグ行為は行わない。			
(5) 大声は避ける。			
(6) 講習中もマスクを着用する。			
(7) 備品の共有はできるだけ避ける（ペンやマジック等）			
(8) 全て諸室のドアを全て開けた状態に保つ。（換気、ドアノブを触らないよう配慮。）			
(9) 諸室の窓を全て開けた状態に保つ。（換気）			
(10) 研修室の換気を十分に行う。			
宿泊施設			
(1) (宿泊)			
(2) 1部屋あたりの宿泊人数は、ベット（布団）とベット（布団）の間隔を十分に確保できる人数とする。			
(3) リネン・室内備品類の交換頻度をできるだけ多くする（施設との交渉）。			
(4) 入室時に手洗い・消毒			
(5) 窓を開けた状態を保つ（換気）			
(6) 就寝時以外のマスクの着用			
(7) (食事)			
(8) 食事会場入室時・食事直前の手洗い・消毒の徹底			
(9) セットメニューでの提供（ビュッフェはNG）			
(10) カトラリー類は随時提供し、まとめて入っている状態からとらない。			
(11) 飲料の提供の工夫（カップ・コップを共有しない）			
(12) 食事会場スタッフのマスク着用依頼			
(13) 座席は可能であれば向かい合わせや隣接しないように人と人の間隔をあける。			
(14) 食事中の会話を配慮する。			
(15) (入浴・洗濯)			
(16) 大浴場の場合は、一度に入浴する人数を制限し、分散して入浴するよう工夫する。			
(17) 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする			
(18) 着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。			
(19) できるだけ、まとめて洗濯するのではなく、個人で洗濯。			
4 期間中対応	(1) 会場で運営に携わる人全員がマスクを着用していることを確認する。		
	(2) 人員配置を必要最小限に絞る。（明確な業務のない人は来ない）		
	(3) 講習・研修会に関わる全ての人（FA、ボランティア、会場、その他関係者）に健康チェックシートを提出してもらい健康状態チェックを行う。		
	(4) (3)で体調が悪い人がいた場合は、どのようなポジションの人でもすぐに帰宅させる。		
5 事後対応	(1) 帰宅後14日以内に運営に関わった人の中から感染者が出た場合は、FAに報告する。また参加者全員にその旨伝える。		
	(2) 帰宅後14日以内に参加者から感染者が出た報告があった場合は、FAに報告する。また参加者全員にその旨伝える。		
6 移動 (参加者・スタッフ)	(1) 原則としてマスクを着用する。屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすことができる		
	(2) 往復の交通公共機関利用時にはラッシュを避け、混んでいる車両を避ける。		
	(3) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。		
	(4) 切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。		
	(5) 電車・バス等において、常に他者と距離をとり、会話を控える。		
	(6) 目的地に着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。		
	(7) 寄り道をせず、できるだけ早く帰宅する。		
7 備品確認 (感染予防対策)	(1) 感染対策実施のために必要な備品リストを作成し、それを施設担当者と共に共有の上、当該備品の用意について前日までに確認する。		
	(2) 感染対策実施のために以下の備品を準備する。 ①スタッフ用マスク（ 個） ②アルコール消毒液（ 個） ③液体石鹸（ 個）		